

新連載

しゅん富田の

デジタル宣教革命

〜世界に福音を発信しよう〜

Vol.1

デジタル宣教の夜明け

子供の頃、欲しかったおもちゃを買ってもらって、その箱を開ける時のドキドキ感。はじめて車の免許をとって、ハンドルを握り、アクセルを踏みしめた時のどこにでも行けそうな期待感。大好きなアーティストの新しいアルバムを手に入れ、スピーカーから流れて来た音を聴いた時の感動。今、私にとって、それ以上にエキサイティングな事が起こり始めています。

有名な人とでも、身近な人とでも、分け隔てなく「今」を共有する事ができる **T w i t t e r**。いつでもどこでも、双方向の生中継ができる **USTREAM** (ユーストリーム)。何万冊の本も音楽も映像もゲームも、なんだって詰め込む事ができる、まるでドラえもんのポケットのような **iPad** (アイパッド)。そのどれもが未知数の可能性を秘めています。様々な人がビジネスにおいて驚くようなアイデアを出し合って、その使い方を模索しています。そのような混沌とした今、私たちクリスチャンがそれらを正しく用いて、一人でも多くの人にイエス・キリストのグッドニュースを伝えるツールとして積極的に用いる時期が来たのではないかと思うのです。

20年に一度の技術革命の年

この**2010**年はソーシャルメディア※¹元年と言われています。ある人は、ソーシャルメディアの夜明けだとも言っています。分かりやすく言うならば、今年**20**年に一度の技術革命の年だと言われています。私は、日本の教会においても、今年**デジタルメディア宣教の夜明けの年**になるのではないかと考えています。

そのためにも、これから**12**回にわたって、皆さんと共に、様々なツールやインターネットのサービス、その成功や失敗の事例、また、秘められた可能性を共に考え、それをどのように宣教に用いて行く事ができるかを共に考え、祈り求めて行きたいと思います。コンピュータはどうも苦手な...という人にも、なるべく楽しく分かりやすいように進めて行きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

宗教改革の立役者

「リバイバル」と言って、皆さんの頭にまず浮かぶのは宗教改革ではないかと思っています。では、この宗教改革の根源となったものは何でしょうか。もちろん、神様の偉大な計画と聖霊様の働きがあった事は誰もが認めることですが、ある人物の功績が大きかったのではないかと思っています。それは誰でしょうか？ ルター？ クロムウェル？ もちろん、彼らはミスター宗教改革と言う程有名で、サッカーで言えばシュートを決めた様な人達でしょう。しかし、実は、彼等に絶妙のパスを出した人物がいます。グーテンベルクとアルダスという人物です。

グーテンベルクは、活版印刷を発明した人です。それまで一つひとつ手で写し取っていた書物を印刷機で一気に印刷できるようになったのです。これは当時の社会に大変なインパクトをもたらしました。今まで一部のみにしか知られていなかった情報が解放され、誰でも情報を手にする事ができるようになったのです。また、司祭を通してでしか読めなかった聖書を誰でも読めるようになったのです。しかし、それだけでは不十分でした。グーテンベルクは写本の聖書そのまま印刷できるようにしたため、出来た本はとても重く、到底持ち歩く事はできませんでした。そこでアルダスの出番です。彼は聖書にノンブル(ページ番号)を付け、本を製本し、今我々が手にしている様な持ち運べるような書物の形を考え出したのです。「持ち歩ける本」というものは現代からみれば当然のように思えますが、これは書物の歴史に

おける大転換だったのです。

このように、印刷機というハードウェアと、製本のシステムというソフトウェアが合わさった事により、爆発的な勢いで聖書などの印刷物が広まっていったのです。

リバイバルのために出来る事

今、それと似たような事が起こっています。神様は人類に知恵を与えて、コンピュータというハードウェアが発明されました。そのハードウェアを基盤にして様々な事を行う事ができるソフトウェアが今この瞬間にも生まれています。そしてそれらの中には無料で使えるものもたくさんあります。この二つを上手に活用すれば、今までとても個人レベルで出来なかった事が出来る時代になってきたのです。そこで私たちに必要なものは、アルダスがしたように、それらのツールを有効に活用するべく、神様から自分に与えられた賜物を用いる事、大きな夢を持つ事、柔軟に新しいことを取り入れる事、それらを迅速に行動に移す事ではないでしょうか。

私は、日本には確実にリバイバルが来ると、強く強く信じています。それは明日かも知れませんが、**100年先**かも知れません。しかし、私たちに必要な事は、いつリバイバルが起こってもいいように備え、準備しておく事ではないでしょうか。私は、私のできる範囲でその準備を、皆さんと共にして行きたいと心から願っています。

新しいチャレンジ

そのために、私自身が新しい事にチャレンジしてみようと思います。ひとつは、この記事電子書籍化し、**iPad**や**iPhone**で読めるようにし、無料で配布します。もうひとつは、**USTREAM**を用いて、この記事の内容について、皆さんと共に考え、吟味し、祈る時を持ちたいと思います。**8月19日の木曜日、夜8時に <http://c.k.a.u>** アウセスしていただくとその模様をご覧いただけます。ちょっと未来のコミュニケーションを共に体験してみませんか？

信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいのものを共有していた。そして、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。

そして毎日、心をつにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心を持って食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意をもたれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

(使徒の働き2章44～47節)

今こそ、クリスチャン一人ひとりが、手を取りあい、この**20年**に一度の革命の波に乗る時ではないでしょうか。宗教改革、産業革命の時代に賛美歌や絵画においてクリスチャンが世の中をリードしていた様に、今再び、私たちがこの希望を無くした世の中にテクノロジーを駆使して、キリストの光をもたらし、世の中をリードして行くことができたらと真剣に心から願っています。この記事を読んで、皆さんの中で、何かうずうずするものが沸き上がってきたなら、その思いを書き留めておいてください。あなたのそのアイデアが、明日の日本を、そして世界を変えてしまう可能性があるからです。さあ、共に一步を踏み出していきましょう。

ちなみに、私はこの原稿をすべて**iPad**で書いてみました。

次回は**twitter**について基本的な使い方や活用事例を紹介していきます。

ことによって、 多数の人々が参加する双方向的な会話へと作り替える。ソーシャルメディアは知識や情報を大衆化し、大衆をコンテンツ消費者側からコンテンツ生産者の側に変える。(wikipediaより引用)



しゅん富田

twitter : [joyful noise 51](#)

<http://christiannel.com>

2009年、国家資格「ITパスポート試験」合格

グリーンハウスデザイン有限会社 所属

新宿シャローム教会 教会員

ベストライフスクール スタッフ

クリスちゃんねる主催者。

この記事はリバイバルジャパン8月1日号に掲載されたものです。

[リバイバルジャパンの定期購読はこちらから。](#)